

「地域のリーダー育成支援活動の実態と効果的な仕組みに関する立案支援」概要について

当センターでは、東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センターと平成21年8月より共同研究プロジェクトを結成し、東北地域および東京・大阪・名古屋などの大都市圏を除く全国の地域におけるリーダー人材育成の実態を明らかにし、地域ぐるみのリーダー人材育成の要件および課題を究明した。

また、下記のシンポジウムを開催し、本共同研究の報告を行うとともに、地域で積極的に人材育成に取り組んでいる方をお招きして、これからの地域における人材育成のあるべき姿についてのパネル討議を行った。

[シンポジウム]

テーマ：このままでいいのか？東北における人材育成

日時：平成23年2月10日（木）13：30～17：30

会場：仙台国際センター 萩

主催：東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センター  
財団法人東北活性化研究センター

共催：財団法人経和会記念財団

以下では、本報告書の概要を紹介する。

## 1. 目的

東北地域を取り巻く社会・経済環境は、混迷を深める中で新たな活路を見出すための模索を続けている。新たなイノベーションを誘発し地域社会・経済を活性化するためには、地域社会を牽引する、地元企業や団体などの経営者や管理者などのリーダーシップが不可欠である。

このような優れた経営者や管理者などのリーダーを育成するためには、継続的で体系的なリーダー人材育成の仕組みを地域ぐるみで構築することが喫緊の課題ではないかとの問題意識のもと、東北地域および全国の地域における経営者や管理者を中心とするリーダー人材育成の実態調査を行い、地域ぐるみのリーダー人材育成のあり方と今後の課題を探究することとした。

## 2. 調査内容

- ①新潟県を含む東北7県における地元企業の人材育成ニーズに関するアンケート調査
- ②東北7県におけるリーダー人材育成支援機関の実態調査(電話および訪問インタビュー調査)
- ③全国各地域におけるリーダー人材育成支援機関の実態調査(訪問インタビュー調査)

## 3. 東北地域におけるリーダー人材育成に関する調査結果

アンケートおよび実態調査により明らかになった特徴は以下のとおり。

第一に、東北地域における経営者や管理者を対象としたリーダー人材育成の内容は、啓発的な講座やセミナーなどに限定されており、継続的で体系的な機会は非常に少ない。

第二に、東北地域におけるリーダー人材育成の主な実施機関は、行政の外郭団体などの公的機関や地方大学および地方銀行などが中心であり、汎用的な公開講座などが大半を占めている。また、地元の中小企業にとって個々のニーズに応じたオーダーメイド型の注文教育研修はきわめて限られている。

第三に、公的機関や大学が主催する教育研修の形態は、講師オリエンテッドな講義や講演形式が約半数を占め、受講者オリエンテッドな演習や実習などが中心の人材育成は2割程度しかない。さらに、地方銀行などが主催する場合、講義や講演方式の研修が9割近くを占めている。

第四に、教育研修期間について、公的機関や銀行の場合、3日以下の比較的短期間の教育研修が6割を占めるが、大学では4日以上比較的長期間の教育研修が6割を占める。なお、比較的長期間の教育研修の場合、ほとんどのケースで演習や実習などが取り入れられており、受講者オリエンテッドな配慮がなされている。

## 4. 東北地域におけるリーダー人材育成に関する今後の課題

これまでに明らかになった東北地域における人材育成ニーズ調査と人材育成の支援活動の現状を踏まえ、今後の課題を考察した。

第一に、一般的な概念知識や事例紹介などだけでは、多くの地域企業が直面している問題点や経営課題を解決するための有効な知恵やリーダーシップを習得する機会として十分に機能しているとは考えられない。東北地域特有の問題や東北の地域企業が直面する課題の解決に結びつく、有効なリーダーシップ開発を担う支援が必要である。

第二に、東北地域ならではの継続的で体系的なリーダー人材育成の仕組みを開発する

必要がある。

第三に、東北地域の経済団体、行政機関、大学などの諸機関が密接に連携しながら地域ぐるみでのリーダー人材育成のための仕組みを開発する必要がある。

第四に、東北地域の各企業も、リーダー人材育成の必要性を再認識し、適切な費用をかけ、効果的な育成機会を設定することが必要である。

## 5. 全国各地域におけるリーダー人材育成支援機関の実態調査

東京・大阪・名古屋などの大都市圏を除く全国各地域における、継続的かつ計画的なリーダー人材育成の取り組み実施機関への訪問インタビュー調査を実施し、地域における有効なリーダー人材育成の要件として、以下の4点を抽出した。

### ①地域社会との密接な連携とコーディネータのリーダーシップ

地元経済界や行政などでの問題意識の共有と各機関との密接な連携が不可欠である。また、地域社会と密接に連携することによって信頼関係を構築し維持していくためには、それを主導的に牽引する精力的なコーディネータのリーダーシップが不可欠である。

### ②独自のカリキュラムの工夫

地域においてリーダー人材育成を支援するためには、地域の現実的な課題に取り組むプロジェクト活動や地域ならではのケース教材の開発など、地域性や実践的なスキル開発を重視したオリジナリティの高いカリキュラムを設定することが重要な要件となる。

### ③魅力的な講師の選定

受講者にとって、講師がもつ経験や専門的知識が価値ある学習対象になっているとともに、個人的な魅力や能力などの属人的な要素もリーダーとしてモデリング学習効果を高める要件となる。

### ④受講者同士の人的ネットワーク形成

地域との連携のあり方やカリキュラムの内容、講師の魅力など、目に見える中核的な事柄に加え、参加した受講生同士のネットワークをいかに形成し、有効に活用するかという点も非常に重要な要件であるといえる。

以上